

1. 面接官の印象

《外国人面接委員》

スキンヘッドで不愛想だが礼儀正しい男性。背が高かった。

《通訳案内士》

笑顔が素敵な痩せ型のショートカットの女性。非常に低姿勢の感じの良い方。素晴らしい通訳案内士なんだろうなと感じた。

2. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- 五稜郭
- 森林浴
- 托鉢

《選択したトピック》

『五稜郭』

《発表した内容》

①五稜郭は北海道の函館市に所在、②幕末の戦争（戊辰戦争という word が出て来ませんでした）が終わった地で、新政府軍が旧政府軍を打ち破った場所、という趣旨のことをしどろもどろになりながら伝えたら、2分が終了していました。全く用意していないトピックでしたが、しどろもどろになりながら何とか一生懸命プレゼンしました。

《質疑応答について》

- ①函館へ行きたいがどのように行けばいいのか（←飛行機と新幹線で行けるが飛行機だと1.5時間で行けるので飛行機がお勧め）
- ②函館の名物は何か（←新鮮な魚介類がお勧め）

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

八坂神社の山鉾巡業の日本文。正確には忘れてしまいましたが、京都の有名なお祭りで市内を練り歩きたくさんの観光客が訪れる、という趣旨の日本語でした。感覚として、5行くらいの非常に長い日本文のように感じた。

《自分の解答した内容》

日本文の7割程度をしどろもどろになりながら何とか通訳した。

4. ロールプレイについて

《場面設定》

八坂神社の山鉾巡業を見に2人組の個人ツアー客が来ていたが（席を予約していた）、台風で中止になってしまった。このような状況で通訳案内士としてどのように対処するか。

《ロールプレイ》 NS：外国人面接委員（Native speaker） I：受験生

I	京都の神社仏閣を見学するのはどうか。
NS	京都の神社仏閣は飽きてしまった。
I	それでは、奈良に移動して神社仏閣を見るのはいかがか。奈良も世界遺産に登録された神社仏閣がたくさんある。
NS	神社仏閣はもう見たくない。
I	それでは、天橋立に行かないか。
NS	天橋立とはどのようなものか。
I	珍しい形の海岸線だ。
NS	台風の影響は大丈夫か。
I	京都市内の中心部からかなり離れているので大丈夫だ。

5. 試験を終えての感想

面接前は心臓が口から出そうなほど緊張いたしました。10分はあっという間でした。客観的に見たらまだまだだと思いますが、今の自分の実力は出せたと思いました。後から振り返ってああ言えば良かった、と思うことは数多ありますが、これが今の実力なので仕方ないです。不合格の場合、また来年富士通訳ガイドアカデミーさんの二次試験対策にお世話になると存じますが、引き続き宜しくお願いいたします。